

## 質問回答

2023 年 12 月 26 日

業務名称：2024 年度～2026 年度 緒方研究所広報コンテンツ制作・発信業務（公告日：2023 年 12 月 14 日）

について、入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	該当頁	該当項目	質問	回答
1	P. 17	(4) コンテンツの制作 ② ソーシャルメディア用の投稿記事の制作	「原則として制作依頼書送付から 2 営業日以内 ※日英」とあるが、依頼日を含めて 2 営業日（翌日）という理解ですか。 出版物などのページ制作依頼とは別に、ソーシャルメディアの制作に関する制作依頼書が新たに送付される。もしくは該当ページが掲載されてから 2 営業日以内に発信案を提出ということですか。 英語の場合はネイティブチェック後に初稿を提出する必要があり、制作工程が増えていますが、それも含めて 2 営業日以内でしょうか。	言語による所要時間の違いを勘案し、当該箇所の「原則として、制作依頼書送付から 2 営業日以内」という記載を「メールでの制作依頼の翌日から、日本語原稿は 2 営業日以内、英語原稿は 4 営業日以内にドラフト提出」に改めます。
2	P. 17	(4) コンテンツの制作 ② ソーシャルメディア用の投稿記事の制作	② ソーシャルメディア用の投稿記事の制作では「月 12 件」となっているが、(5) コンテンツの発信では日本語 15 件、英語	日本語 15 件、英語 12 件が正しいです。但し、これはおおよその目安

			が12件となっている。どちらが正しいでしょうか。	であり、業務量上限ではありません。
3	P. 17	(4) コンテンツの制作 ③ メールマガジンの制作	「原則として制作依頼書送付から2営業日以内 ※日英」とあるが、依頼日を含めて2営業日(翌日)という理解ですか。メールマガジンの制作に関する制作依頼書が送付されるということか、該当ページが掲載されてから2営業日以内に発信案を提出ということか。英語の場合はネイティブチェック後に初稿を提出する必要があり、制作の工程が増えているが、それも含めて2営業日以内ということでしょうか。	言語による所要時間の違いを勘案し、当該箇所の「原則として、制作依頼書送付から2営業日以内」という記載を「メールでの制作依頼の翌日から、日本語原稿は2営業日以内、英語原稿は4営業日以内にドラフト提出」に改めます。
4	P. 17	(4) コンテンツの制作 ③ メールマガジンの制作	② メールマガジンの制作では「月6件 ※日英」となっているが、(5) コンテンツの発信では9件となっている。どちらが正しいですか。	日本語9件、英語9件が正しいです。但し、これはおおよその目安であり、業務量上限ではありません。
5	P. 18	(5) コンテンツの発信	発信業務の中に「JICA 緒方研究所が提供する先行言語(日または英)原稿の翻訳・英文校閲作業も含む。」となっているが、提供されたテキストの翻訳や英文校閲をする場合は、発信ではなくコンテンツ制作になると思われます。 P25の表には制作の中に入っているので、制	その理解で結構です。

			作としてカウントされるという理解でよろしいでしょうか。	
6	P. 19	(7) コンテンツ制作工程上の留意点④	4 営業日での原稿ドラフト提出となっているが、原稿の文量、取材の有無、英語ドラフトのネイティブチェックの工程追加など、それぞれのコンテンツによって制作工程にかかる時間に違いがあるが、その点は考慮されますか。	言語による所要時間の違いを勘案し、当該箇所中、「当該イベントの終了後、もしくは関連資料の提供後、その実施もしくは提供日を含む、遅くとも4営業日以内」を、「当該イベントの終了、もしくは関連資料の提供または先行言語の原稿確定の翌日から、日本語原稿は4営業日以内、英語原稿は6営業日以内」に改めます。 また、「なお、日本語と英語原稿の制作プロセスが異なる場合(翻訳等を経る場合)は、いずれかの原稿を遅くとも4営業日以内に提出すること。翻訳言語については、先行言語の原稿確定連絡から遅くとも6営業日以内に提出すること。」は削除します。  分量によるスケジュールの変更は基本的に想定していませんが、長期に

				及ぶ取材などこの原則により難しい場合には別途協議することとします。
7	P. 20	(9) 業務従事者の担当分野	「③ 原稿作成・校閲(英)(技術審査の評価対象)」に校閲と表記されているが、ネイティブチェックを示しているのではなく、編集・校正という理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
8	P25	想定される成果品および業務量(2024年度、2025年度、2026年度共通) 別添2	2. のコンテンツ発信業務について確認いたします。 Facebook 投稿(英語・日本語)とメルマガ(英語・日本語)と簡易動画(日本語・英語)の記載(発信数)が漏れていませんか。	作成した Facebook 原稿、メルマガ、動画を投稿、発信、アップロードする作業自体は簡易なものであることから、その工程も「1. コンテンツ制作業務」に含めています。

以上